

ISSN 2186-554X

山梨県衛生環境研究所年報

平成 23 年 第 55 号

Annual Report of the Yamanashi Institute
for Public Health and Environment

No. 55, 2011

山梨県衛生環境研究所

はじめに

平成22年4月、衛生及び環境両部門における試験検査・研究機能の充実を図るため、従来より地方衛生・環境研究所としての役割を担ってきた旧衛生公害研究所と、行政検査機関の旧衛生監視指導センターを組織統合し、山梨県衛生環境研究所が設置されました。

施設の統合先を旧衛生公害研究所として、建物の耐震補強・施設改修など必要な工事をおこない、平成24年4月、職員及び検査機器等を移転して新たに業務を開始しました。

こうしたことの背景には、県民の皆様を取り巻く保健衛生や環境保全に係る課題として、新型インフルエンザ等の感染症対策や食の安全・安心確保の問題、また地球規模での環境対策などがあげられ、これらの課題に常に科学的根拠をもって対応ができる試験研究機関である衛生環境研究所の機能強化がよりいっそう求められ、試験検査体制の見直し及び整備が必要となってきたということにあります。

新しい体制のもと、チャレンジ山梨行動計画に掲げる“暮らしやすき日本一”の実践に向け、これまで以上の高度な技術力、高精度の検査機器等の整備、さらにはより広範な学際的連携と新しい理念をもって取り組んでいかなければならないと、私をはじめ職員一同思いを新たにしたところです。

ここに平成23年度の調査・研究の成果を「山梨県衛生環境研究所年報第55号」としてとりまとめました。この年報が皆様のお役に立つことを期待申し上げるとともに、御高覧いただき、御意見・御指導をいただければ幸いです。

平成24年8月

山梨県衛生環境研究所

所長 村松克彦

目 次

I	組織と沿革	1
II	業 務 報 告	
	企画情報科、総務スタッフ	2
	生活科学部	6
	微生物部	8
	環境科学部	11
III	資 料	13
IV	論文抄録及び学会発表等	30
V	研 究 報 告	
	水道水中の自然放射性核種と地質・水質との関連について	33
	甲府盆地地下水の深度の違いによる水質性状	38
	食用タール色素検査における検体前処理法の検討	42
	タケノコに付着した白色物の分析について	45
	山梨県に流通する食品の残留農薬試験について	47
	山梨県における食品中放射性物質検査について	55
	<i>Kudoa septempunctata</i> の顕微鏡検査事例について	60
	細胞膨化致死毒素遺伝子を標的とした multiplex PCR 法による <i>Campylobacter jejuni</i> 及び <i>C. coli</i> の同定について	62
	2007 年から 2010 年に山梨県で分離された散発下痢症患者由来 サルモネラ属菌の薬剤耐性	65
	山梨県におけるノロウイルス G I , G II の混合感染事例について	71
	山梨県におけるインフルエンザウイルスの検出状況 (2011/2012 シーズン)	73
	富士五湖における TOC (全有機炭素) 経月変化調査について	77
	富士五湖の水質環境の変化 (2002~2010 年度)	80
	山梨県におけるコモチカワツボの分布状況 (第 1 報)	86
	沈水植物による底泥巻上げ抑制効果に関する基礎実験	88
	山梨県内の微小粒子状物質 (PM2.5) 汚染状況について	91